

—裏面の特集もご覧下さい—

●幼稚園ではじめての試み 出前講座

7月2日 向台幼稚園、4日 末廣幼稚園の要請で「夏の生き物観察」出前講座を開きました。大ホールに園児達が集合。「虫のなまえ当て」や「オス・メスの違い」などのクイズに答える、元気な園児たちに圧倒されました。天神谷津で採取したザリガニ、ドジョウ、ナナフシ、カブトムシ等の生きものに触れる体験をした園児の眼は輝いていました。予想を超えた園児たちの反応に触れ、私達も大満足でした。

* 参加園児：両園で220人



▲ほら、ザリガニってこうやってつかむんだよ



▲向台での講師山崎さん



▲こんな虫見たことないよ！



▲末廣での講師小松さん



▲ヘラクレスにさわられたよ！

●第一小3年生の自然観察会と出前講座



▲天神谷津の緑の中で虫や野草を観察

6月18日くもり空の下、天神谷津で富里第一小3年生16人と一緒に自然観察会を行いました。

昨年からはじめた出前講座も好評だったため、7月7日に3年生の教室で開きました。講座の後半は、天神谷津の生き物や昆虫標本の展示室に移動。生きたザリガニ・ナナフシ、カブトムシの蛹などに触れて大騒ぎとなり、それを聞きつけた2年生も途中参加するほどでした。



▲もそもそ動くカブトムシの蛹にびっくり！

●古代米の田植え 7種類を天神谷津で



▲代掻きの後の仕上げに長さ約3mのシロギを引く、吉井さん。楽しんでいる様だが結構な重労働？



6/21(土)、環境保全や食(農業)と地域をつなぐ活動をされている十四農園の吉井さんの提案で、天神谷津に7種類の古代米を植えました。葉の色、穂の長さ、成長の早さなど様々でパッチワークの様です。どんな味の違いになるのか、今から収穫が楽しみです。

●「知ってほしい！ホタルのこと 里山とホタル」創年セミナーで講義



富里市では、学んだことを生かして地域に貢献し、生涯にわたって輝き続ける人材の養成を目的とする「創年セミナー」が毎年企画されています。この春、富里市より当NPOに講師派遣の依頼があり、それに従って7/24(木)中央公民館で「知ってほしい！ホタルのこと」と題して、理事の山崎卓(とおし)さんが講義しました。会場では43名の受講者が熱心に聴き入っていました。ホタルについての実体験を里山と結び付けながら語り、最後に「ホタルを守るとは、里山の生態系を維持すること」と、私達の活動の意義をしっかりとアピールしました。

★天神谷津★ いのち 生命のにぎわい

秋の夜に鳴く虫たち

秋の訪れが感じられる季節になりました。今、天神谷津では、夏のカエルの大合唱に代わって、虫の鳴き声の競演が始まっています。エンマコオロギやアオマツムシ、カネタタキなどが、澄んだ音色を奏でています。私たちは美しいと感じるこの音色ですが、欧米人達には「雑音(ノイズ)」と感じるそうです。虫たちが生きるために発している鳴き声にさえも、季節のうつろいや、美しさ、哀愁を感じてしまうことが、日本人特有の繊細な感性だと言われます。これからの季節、天神谷津に限らず静かなところならどこでも、この虫の鳴き声を聴けます。時には、虫たちの鳴き競う声に耳を澄まし、日本人であることを確認してみるなんていうのはどうでしょうか。



エンマコオロギ

アオマツムシ

カネタタキ

会員紹介

ひらい としお
平井 敏雄さん (70歳) 富里市大和在住



私の故郷は、九州大分県です。4才頃までは、田園風景豊かな片田舎(現在は、大分市に合併)で育ちました。当時の環境は田畑と小川があり、夜ともなると、ホタルが飛び回っていました。今でも、その光景は忘れられません。その後、我が家は、温泉の街、別府市に引っ越し。更に、就職で昭和38年に上京し、ホタルを見ることは皆無となりました。昭和57年に富里村に移り住み、現在に至っています。このNPOに入会した動機は、定年退職し、身体を動かすことが少なくなり、健康を維持するため。それと、世間に今までのお返しが出来ることは何かないかと思っていたところ、「協働のまちづくり講座」を受講した際に、この会の趣旨に共鳴したからです。会員のみなさま、今後ともよろしくお願い致します。

NPO 富里のホタルは、谷津田などでホタルの発生を指標とした自然保護活動を行っています。

会員募集

活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費:2000円)

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161
事務局メールアドレス okamoto@themis.ocn.ne.jp

現在の会員数: 0177



特集「SAVE JAPAN プロジェクト」



●夏休み親子でホタル観賞ウォーキング



▲八街北中科学部員の説明に耳を傾ける参加者の皆さん

7月26日の夕刻、SAVE JAPAN プロジェクトによるホタル観賞ウォーキングが行なわれました。一日目は都内や市外から大勢の参加者が天神谷津を訪れてくれました。明るい内に谷津を巡り自然環境を体感。観察ガイドが、谷津の成立ち・生態系・ホタルについて解説。

夕闇が迫る中、竹灯籠が灯り、散策路を進むと暗闇の中に沸き立つヘイケボタルの淡い光に、あちこちから歓声が上がりました。

この日の為に、何度も練習を重ねて来た、八街北中科学部員のホタル観賞ガイドは好評でした。

二日目の27日は、富里市上空に雷雲が接近するという予報に2時間前にイベント中止を決定。ところが予報が外れて降雨は無く、自主判断で参加した33名がホタルを観賞。用意したカレーライスやスイカを味わって頂きました。



▲日が落ちる前に、参加者とスタッフ一同が集合写真に納まる



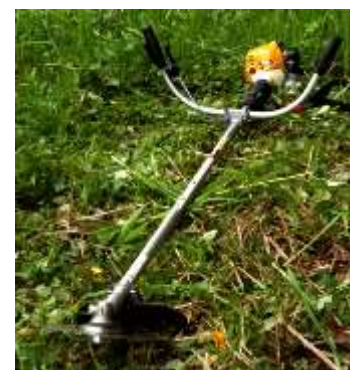
▲ホタル観賞の前に、カレーライスや冷えたスイカ・トマト、焼きトウモロコシを味わう



▲風にたなびくのぼり旗

●こんなことに活かされました！

助成金80万円は、写真のようなことに使いました。その他、人件費や行事案内チラシ「ホタル観賞ウォーキング」、「自然観察会」の各1,000枚などです。



▲刈払機(2台)



▲イベントベスト(30着)



骨組み部分をハードウッドに交換した木道



▲パンフレット(1,000冊)



木道の修理に大活躍！

▲インパクトドライバ(1台)



▲物置(1棟)

●SAVE JAPAN プロジェクトとは、47都道府県のNPOと地域の人々、損保ジャパン日本興亜株式会社が一緒になって、全国各地の「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクトです。保険契約時にWeb約款を選択することにより、寄付が行なわれ、地域の環境団体とNPO支援センター、日本NOセンターと協働で、市民参加型の屋外イベントを開催します。参加募集の案内や、開催報告など随時ホームページに掲載。地域みんなで参加できるイベントを目指しています。



SAVE JAPAN プロジェクト 秋の自然観察会「ホタルの里・いのちのつながり」

10月4日(土)9:00~13:00 ※雨天順延 5日(日)

- 会場:天神谷津
- 参加募集:定員30名 *申込締切 9月26日
- 参加費:大人300円(子どもは無料)

希少種のニホンアカガエルなど多様な生きものたちとの出会いを通して、生きものつながりを調べてみましょう。最後に、富里野菜を味わって頂きます。

